

【施設状況】

グループ名称	信更公民館							
指定管理者名	信更地区住民自治協議会				法人番号	3700150020765		
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副				
構成施設	3304	信更公民館						
	3160	信更公民館高野分室						
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	信更公民館（本館）：講義室1, 和室1, 調理室1, 大会議室1 信更公民館高野分室：学習室5, 料理教室1, 体育館1							
施設設置目的	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。							
基本方針等	利用者の安全対策を最優先に、地域住民及び各種団体、学校などの活動と連携を図りながら、利用者に配慮した対応を心掛け、ニーズを把握し管理運営に反映するように努め、適正な維持管理と保守点検を行う。公の施設であるということを念頭におき、公平、公正な運営を行う。							
主な実施事業	定期講座を開催すること。討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催すること。図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。体育、レクリエーション等に関する集会を開催すること。各種の団体、機関等の連絡を図ること。その施設を住民の集会その他の公共の利用に供すること。貸館に関すること。							

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	信更地区住民自治協議会	指定回数	2 回
指定期間	平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日	5年	管理運営開始日 平成27年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。		評価  <b>3</b>
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)		

2 施設の有効活用

No. 90

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	H27	H28	H29	H30	対前年比	評価
	信更公民館 利用者数	人	3,969	4,591	4,685	5,161	110%	
	信更公民館 利用率	%	10.0	13.0	14.0	14.3	102%	
	信更公民館高野分室 利用者数	人	1,425	1,248	769	902	117%	
	信更公民館高野分室 利用率	%	2.0	2.0	1.0	1.2	120%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
(特記事項)								

  

事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案	追加事業、未実施事業及び未実施の理由	3
	市指定事業		信更公民館の利用許可に関する業務 社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 信更公民館の施設及び設備の維持管理に関する業務 信更公民館の利用の取り消しに関する業務 施設、付属設備及び物品の維持管理に関する業務	
自主事業				

  

サービス維持・向上の取組み(広報等)	館報(年4回発行)、講座の広報誌作成、町内全戸配布。(月ごとの講座をまとめて掲載し、公民館活動の状況や一言などを掲載し、公民館事業に関する情報を一読していただくよう工夫している。) 来館者に対して積極的な声かけをし図書室や講座へのお誘いを行っている。
--------------------	---

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容	評価
	利用者要望把握	<p>(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート</p> <p>(2) 調査、会議等の内容 ①講座修了後、受講者にアンケートを実施した。 ②貸館業務では、貸館終了後に使用簿を記入する中で要望等を聞いている。</p> <p>(3) 調査、会議等の結果 主な講座 菊の学園(述べ66人参加 よかった8名、不満0名)、国際交流(参加者29名 よかった8名、未回答21名)料理教室(やしょうまづくり 参加者33名、よかった24名、未記入9名)、自然観察(参加者134名 よかった(ややよかった含む)64名 不満(やや不満含む)3名 未記入67名)、ガーデニング教室(参加者49名 よかった34名 未回答15名)</p>	
利用者からの評価・苦情等	<p>(1) 良好とする評価 運動など体を動かすのが気持ちよかった。小学校との連携講座では小学生と接する機会があって良かった。料理教室で郷土料理や季節の食べ物を作ることが出来て良かった。講座に参加して地域の人を知れて良かった。</p> <p>(2) 苦情・改善等の要望事項 高野分室での講座を開催してもらいたい。調理室の調理用具の置き場が分かりづらい。調理室のスリッパが汚い。夜間利用者の貸館時間が超過、利用者の騒音もあったと周辺住民より苦情があった。</p> <p>《対応措置》 苦情後、夜間、休日の貸館利用者には、利用方法を十分説明し、時間の超過が無いようお願いしている。貸館時間を超過した利用者には、翌日、貸館利用について再度説明し、騒音に対しても、周辺住民の迷惑にならないよう注意した。また、貸館利用については、申請時に利用について説明している。 調理室の調理器具の整理を常に行うよう心がけている。 スリッパは2年かけて新しいもの買い替えた。高野分室へのふるさとウォーキングを計画し、分室内で昼食をとり、地元の歴史等講義を受けた。</p>		

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成30年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成30年度決算		平成29年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金		利用料金		歳入	使用料		使用料	
	指定管理料	11,903,000	指定管理料	11,903,000		雑（納付金）		雑（納付金）	
	委託料		委託料		行政財産 目的外使用料		行政財産 目的外使用料		
	販売収入等		販売収入等		貸付料		貸付料		
	その他収入	70,080	その他収入	659,790	その他		その他		
	計	11,973,080	計	12,562,790	計	0	計	0	
支出	人件費	6,851,000	人件費	6,639,783	歳出	指定管理料	11,903,000	指定管理料	12,093,000
	設備管理費	1,052,000	設備管理費	1,072,224		委託料		委託料	
	備品購入費	0	備品購入費	0	需用費		需用費		
	修繕費	0	修繕費	0	役務費		役務費		
	光熱水費	1,007,000	光熱水費	1,193,724	使用料・賃借料		使用料・賃借料		
	事業費	866,000	事業費	1,236,026	修繕費		修繕費		
	事務経費	1,506,000	事務経費	1,741,412	工事請負費		工事請負費	228,960	
	本社経費		本社経費	0	備品購入費	297,000	備品購入費		
	その他	691,080	その他	452,800	その他		その他		
	計	11,973,080	計	12,335,969	計	12,200,000	計	12,321,960	
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		226,821	差引	-12,200,000		-12,321,960	
人件費比率【人件費（賃金等）／平成30年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）								53.8%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて  で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長1名(1名)、主事1名(1名)、事務職員1名(1名)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/>
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		評価
	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	4
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内からの積極的な雇用</li> <li>・市内事業者からの積極的な物品の購入</li> <li>・施設近隣の団体とのイベントの協同開催、施設近隣地区の運動会への参加協力</li> <li>・障害者就労施設等からの物品及び役務の調達</li> </ul>		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価	
指定管理者の健全性	3	6	合計得点 <b>62</b>	
施設の有効活用	3	12		
利用者評価	3	12		
事業収支	3	6		
管理運営全般	3	12		
危機管理体制	3	6		
地域連携	4	8		

評価理由	地域おこし協力隊が実施している国際ワークキャンプとのコラボを通して、高野分室へのふるさとウォーキングを実施。地元小学生、地域住民、国際ワークキャンプの参加者が一緒に地元の歴史について学ぶ機会を提供したことから地域連携を「4」と評価した。		
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等 (改善されていない場合)
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	次年度においても引き続き質の高い施設活用、利用者サービス及び地域と連携した事業の実施に努めてほしい。		

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

料理教室は、申込者が多数となり急ぎょ2回開催し、利用者から好評を得た。  
 来館者に対するあいさつ運動を徹底し、気軽に立ち寄り、おしゃべりができるなど親しみのある公民館を目指し雰囲気づくりを行った。  
 冬場は玄関ホールをはじめ館内がとても寒いので事前にエアコンを入れて利用者を迎えるようにした。  
 チラシはA3色紙に複数の講座を掲載し全戸配布し、参加者の予定が立ちやすいよう開催日が先のもも掲載した。  
 講師は地元講師を発掘し、新しく招く努力をし、地域住民に地元に対する興味関心を抱かせる講座作りを心掛けた。  
 子育て支援と親子学級は対象者が重なることが多く、参加者にとっては同じことなので、住民自治協議会で行う子育て支援と親子学級を同時開催し、お互いの役割と保ちつつ共催として充実させた内容を計画し活動していた。  
 地域おこし協力隊が実施している、国際ワークキャンプとのコラボを通して、国際理解や英語学習等に結び付けるよう努力していた。  
 以上のことから、常時サービス向上の取組みを行っている。

② 業務の効率化に対する取組み

月・水・金曜日の朝10分をミーティングにあてる。その際、各自業務のシェアリングをすることにより、業務上の抜けがないかどうかダブルチェックが可能となった。又、業務の効率化等の意見交換の場としても活用している。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

山間地で人口は少子高齢化、移動手段も公共交通の便が悪いため、なかなか集客へつながらないが、チラシ配布だけでなく多くの人への声掛けが必要。住自協との連携を密にし、行事が重ならないようにする。

(3) 総合評価

評価基準（計画＝事業計画）

- 【A】計画や目標を大きく上回る
- 【D】計画や目標を下回る

- 【B】計画や目標を上回る
- 【E】計画や目標を大きく下回る

【C】計画や目標どおり

指定管理者  
自己総合評価

C

① 評価理由

従来やり方にこだわらなく、各事業を行えた。

② 次年度以降の取組み

親しまれる公民館を目指し、講座等を開設し、適正な施設の管理運営を目指す。住自協との事業と公民館事業の重複をさらに検証し、住民が参加しやすい時期に設定し、充実させる。  
 住自協の役員との情報交換を心がけ常に情報を入手し講座に役立てる。